



## 自国の発展と岩手との懸け橋に期待 海外技術研修員らが修了式

パラグアイや中国、ブラジル、ネパール、フィリピン、韓国など、各国から岩手を訪れ、県内の事業所などで農業や医療、コンピュータ、行政などの専門分野で研修に励んできた海外技術研修員と県費留学生、海外自治体研修員合わせて17人の修了式が、3月13日、県庁で行われた。一人ひとりに修了証書と記念品を手渡し、同時にいわて親善大使としても委嘱した増田知事は「今後はそれぞれの国の発展に尽くし、岩手との懸け橋になってください」と励ました。



## 一戸町の県立病院跡地に新工場 東京電波が立地調印

一戸町の県立北陽病院跡地を取得し、4月から携帯電話向け電子部品の製造を開始する東京電波（本社東京、資本金33億7,100万円、熊谷秀男社長）の土地売買契約書、立地協定書調印式が、増田知事を立会人に3月21日、県庁で行われた。調印式では熊谷社長と佐藤文昭県医療局長が土地売買契約書を交換、さらに同社長と稲葉暉一戸町長が工場立地協定書を交わした。同社は当初20人～30人の従業員で操業し、最終的に200人の雇用を見込む。



## 盛岡―八戸間並行在来線の新会社 夢も乗せて「いわて銀河鉄道」

来年12月の東北新幹線・盛岡以北の開通に伴い、JR東北線から切り離される並行在来線を運営する第三セクター会社の設立発起人会が、盛岡市のエスポワールいわてで開かれ、新会社の名称が「IGRいわて銀河鉄道株式会社」（略称：いわて銀河鉄道、IGR）に決定した。計2,642件の一般公募作品から、一戸町岩館の主婦福田優子さんの作品が選ばれたもので、増田知事は「名称にあった鉄道サービスを提供し、何度でも乗りたくなるような鉄道にしたい」と話した。



## 交通網整備や地方分権推進などを要望 東北六県知事らが扇国土交通相と懇談

東北六県の知事や経済団体代表らが、国の公共事業などについて扇千景・国土交通相ほか同省幹部と意見交換する「国土交通東北地方懇談会」が3月25日、仙台市内のホテルで開かれた。扇国土交通相は「縦割り行政を廃し、陸海空の三位一体で、地域特性を生かした基盤整備を進めるため意見を聞きたい」とあいさつ。増田知事ほか出席者たちは、道路や空港、港湾などの早期整備を要望するとともに、地方分権の推進についても意見を述べた。